

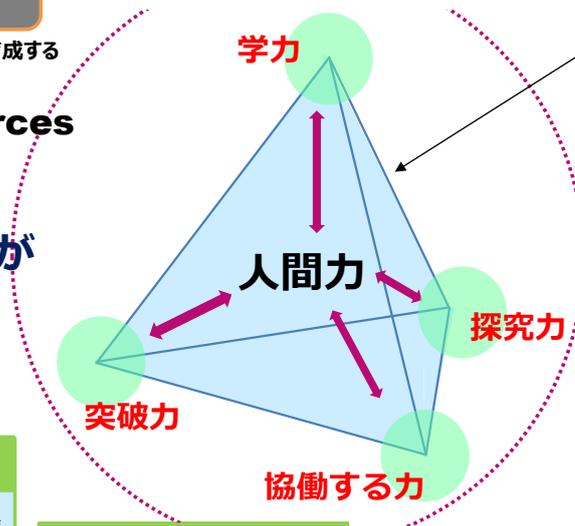
# グランドデザイン

イノベティブなグローバル人材を育成する  
南多摩中等教育学校の教育

## Minamitama Forces

学力・突破力・  
協働力・探究力が  
内に向かい  
"人間力"を宿す

### 《生徒に育成する力》



### 心・知・体 の調和

から生まれる“人間力”は、学校生活全般から「人間としての在り方」を体得させる、本校の不易の教育である。予測不能な社会にあつて本校に寄せられた期待は、6年間を通して“確かな学力”を身に付けさせ、新たな価値を創造し、主体性を持ってリーダーとして活躍できる人材を育成することである。

#### 学力

主体的・自立的な学習意欲、態度とともに経験の無い困難に立ち向かうための新たな知識を自ら獲得する知的な基礎力を身に付ける

- 学びと向き合う力
- 学びを継続する力
- 学びを生かす力
- 学びを共有する力

#### 身に付ける資質能力

- ◆基礎学力の重視
  - ・前期課程における少人数授業・TT
  - ・生活時間の記録を活用した学習習慣の確立
- ◆先取り学習と発展的内容の学習
  - ・高校受験のない時間的な利点を最大限に活用
  - ・6年後の姿から逆算した教育課程
- ◆主体的な学びを引き出す授業
  - ・A L型授業・ICT機器の有効活用
- ◆各教科による授業時間外の支援
  - ・各教科による補習
  - ・長期休業中における講習
- ◆英語教育
  - ・4技能を中心とした高度な語学能力の習得
  - ・外部検定試験の校内実施
  - ・Global Scholars
  - ・オーストラリア海外研修旅行
  - ・オンライン英会話
  - ・リーディング&ディスカッション
- ◆理数教育の充実
  - ・理数リーディング校としての取組を踏まえた理数教育の継続と発展
- ◆自学自習と集団で挑む環境づくり
- ◆探究型・発表型の授業の推進
- ◆文理融合型授業の推進
- ◆CLIL(内容言語統合型学習)の実践

#### 突破力

進学先やキャリアについて自己の目標を明確にし、目標達成に向けた課題への取組と自己管理で目標達成する高い志と逞しさを身に付ける

- 目標を見出せる力
- 目標を定め達成に必要な課題を見出せる力
- 目標達成のための計画ができる力
- 目標到達のための計画を実行できる力

#### 身に付ける資質能力

- ◆ Career Noteを活用したワーク
- ◆ Dream Planの作成
- ◆ キャリアガイダンス
- ◆ ライフワークプロジェクトと連携した「志」の育成
- ◆ 外部人材との連携
  - ・職業団体と連携した職業人講話
  - ・職場体験
- ◆ 進路講演会(異文化理解)
- ◆ 実力テスト分析会
- ◆ 外部機関や企業と連携したキャリア形成
- ◆ 高大連携
  - ・分野別大学模擬授業
  - ・大学キャンパスツアー
  - ・学部学科研究
- ◆ 職業研究・学問研究
- ◆ 進路学年集会の実施
- ◆ 自主学習支援
- ◆ 受験支援
  - ・4クラスならではの手厚い進学支援
  - ・校内自習環境の整備と支援
  - ・チューターによる自主学習支援

#### 協働する力

自己の力のみならず、他者の力を引き出し融合させ、相乗効果により、有機的に組織的に発揮させる能力を身に付ける

- 自己を動かす力
- 人と親和する力
- 集団を構成する力
- 集団を動かす力

#### 身に付ける資質能力

- ◆ 南魂祭等の異年齢の生徒集団が主体となる学校行事(インクルーシブ教育の場)
- ◆ 部活動の推進(異年齢集団で共通した目標を達成する場)
- ◆ 生徒会活動の活性化(組織論・自治活動の学びの場)
- ◆ 前期課程における校外宿泊行事(協調・協働の経験、人間関係構築力の育成の場)
- ◆ 基本的な生活習慣の定着(社会性・公共心の育成)
- ◆ 規範意識やボランティアマインドの醸成(社会貢献に喜びを感じる経験の場)
- ◆ 思いやりの心・克己心・自尊心の育成(心の教育の充実、リーダーシップの醸成の場)
- ◆ 自主性を重んじた委員会活動(校内外の課題に対する取組への推進力・継続力の育成)

#### 探究力

自ら設定した課題に取り組み、新しい知見を生み出して価値を創造していくために、自ら解を追究する姿勢と手段を身に付ける

- 課題を設定する力
- 情報を収集・整理・分析する力
- 論理的に思考する力
- 発信する力

#### 身に付ける資質能力

- ◆ フィールドワーク活動
  - ・地域調査(1年)
  - ・モノ語り(2年)
  - ・科学的検証活動(3年)
  - ・ライフワークプロジェクト(4・5年)
- ◆ ティーチングアシスタントの導入
- ◆ 探究独自作成テキストの活用
- ◆ 成果発表会
  - ・ポスター発表
  - ・冊子づくり
  - ・プレゼンテーション
  - ・ポスターセッション
  - ・パネルディスカッション
- ◆ 4000字の研究論文(個人)
- ◆ 高大連携
  - ・大学教員による論文指導
- ◆ ゼミ運営 相互評価
- ◆ 各種フォーラム等への積極的な参加
- ◆ 各教科の知的探究活動
  - ・世界に存在する問題(SDGs等)を知る
  - ・Study Tour(国内・国外)
  - ・Semester講演
- ◆ 各種コンテスト・プレゼンテーション大会への積極的な参加
- ◆ 異文化理解への取組
- ◆ 高校生国際会議への参加

◆ Society 5.0に向けた学習方法研究校 ◆ 第二期英語教育推進校 ◆

東京都教育委員会の指定校事業を活用

文部科学省WWLコンソーシアム構築支援事業の拠点校